

選択科目Ⅰ・Ⅱの受講は任意になります。  
 (\* )は選択科目Ⅰ：各授業から1つ選びます。受講人数に定員があり、希望者が多い場合には抽選となります。  
 (☆)は選択科目Ⅱ：希望者は全員履修可能。  
 講師の都合により、開講日時が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

**ガイダンス** ※ガイダンスへは全員出席ください 2023.1.7【7版】

授業名	取得時間	参加方法	場所	開講日	曜日	開講時間	内容
Zoomお話し会 (参加自由)	-		オンライン (Zoom)	4月1日	金	19:00-19:40	オンライン受講にあたってZoomの使い方に慣れたり、お話しいただく機会として、2回の「Zoomお話し会」を設定しました(両日同内容)。基本的なZoom操作のレクチャーになりますので、接続にご心配な方のみのご参加で問題ございません。
	4月2日			土	13:00-13:40		
授業ガイダンス	-			4月9日	土	13:30-16:30	年間スケジュール、各授業概要、eラーニングでの視聴方法などご説明します。 初回の授業概要の共有になりますので、必ずご参加ください。当日ご参加できない方用に記録動画も後日配信されます。
オンラインリテラシー	-			4月16日	土	13:30-14:30	DOORのオンライン授業を受けるにあたっての、オンラインでのリテラシーを皆さんと共有していく時間です。
交流会	-	14:30-15:30	オンラインリテラシー後に交流会を行います。ブレイクアウトルームを使い、自己紹介などの時間を設けますので、ぜひご参加ください。				

**必修科目** オンライン = 対面授業 =

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	回数	開講日	曜日	開講時間	内容	タイトル	講師	講師所属・肩書き	
ダイバーシティ実践論・ケア原論	日比野克彦 伊藤達矢	草野温子 北沢美樹	<ダイバーシティ実践論> 社会人受講生=22.5時間 芸大学生=2単位		オンライン (Zoom)	1	4月25日	月	18:20-19:50	<ダイバーシティ実践論> 様々な領域からオムニバス形式で講師を迎え、対話を交えながら、創造されるべき共生社会を考察し、実践につながる思考を編んでいくことを目指す。  <ケア原論> 福祉の歴史やケアの基礎的な考えを知り、私たちが取り巻く環境が抱える問題について理解を深める。また、福祉・アートの両領域における創造的な取り組みを参照することで、現代の福祉とアートの接点について考察する。アートを介し福祉をより多角的な視点で捉えてゆくことを目的とする。	<ダイバーシティ実践論>	真下貴久	訪問介護事業所たかのわ 代表	
						2	5月9日	月	18:20-19:50			宮崎成悟	ヤングケアラー協会 代表理事	
						3	5月16日	月	18:20-19:50			アサダワタル	文化活動家・アーティスト・文筆家	
						4	5月23日	月	18:20-19:50			松田崇弥	ヘルパルボニーCEO	
						5	5月30日	月	18:20-19:50			川瀬信一	一般社団法人子どもの声からはじめよう代表理事・公立中学校教員・内閣官房子ども家庭庁設置法案等準備室政策委員	
						6	6月6日	月	18:20-19:50			匿名	会社員(元薬物依存症当事者)	
						7	6月13日	月	18:20-21:30			飯田大輔	社会福祉法人福祉楽団 理事長	
						8	6月20日	月	18:20-21:30			飯田大輔	社会福祉法人福祉楽団 理事長	
						9	6月27日	月	18:20-19:50			阿古真理	作家・生活史研究家	
						10	7月4日	月	18:20-19:50			馬場拓也	社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事	
						11	7月11日	月	18:20-19:50			蓮田健	医療法人聖粒会 慈恵病院 理事長兼院長	
						12	7月25日	月	18:20-19:50			イヴ・ジネスト 本田 美和子	日本ユマニチュード学会	
	課題レポート①(前期)・・・8/31(水) 23時まで													
	ダイバーシティ実践論・ケア原論	日比野克彦 伊藤達矢	草野温子 北沢美樹	<ケア原論> 社会人受講生=22.5時間 芸大学生=2単位		オンライン (Zoom)	1	10月3日	月	18:20-19:50	<ダイバーシティ実践論> 様々な領域からオムニバス形式で講師を迎え、対話を交えながら、創造されるべき共生社会を考察し、実践につながる思考を編んでいくことを目指す。  <ケア原論> 福祉の歴史やケアの基礎的な考えを知り、私たちが取り巻く環境が抱える問題について理解を深める。また、福祉・アートの両領域における創造的な取り組みを参照することで、現代の福祉とアートの接点について考察する。アートを介し福祉をより多角的な視点で捉えてゆくことを目的とする。	<ケア原論>	堂本暁子	元千葉県知事
							2	10月17日	月	18:20-19:50			西崎勝則	法務省 保護局総務課企画調整官 横浜西区BBS会議員 兼 保護司
							3	10月24日	月	18:20-19:50			野野 修	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授
							4	10月31日	月	18:20-19:50			堀田聡子	健康マネジメント研究科 教授
							5	11月7日	月	18:20-21:30			中島岳志	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授
							6	11月14日	月	18:20-19:50			飯田大輔	社会福祉法人福祉楽団 理事長
							7	11月21日	月	18:20-19:50			塩崎恭久	前衆議院議員
							8	11月28日	月	18:20-19:50			田中伸弥	社会福祉法人ライフの学校 理事長
							9	12月5日	月	18:20-19:50			荻田泰水	冒険家
							10	12月12日	月	18:20-19:50			福島徹 日比野克彦	(株)ユニオン会長 東京藝術大学長
							11	12月19日	月	18:20-19:50			北澤潤	美術家
12							1月16日	月	18:20-19:50	岩淵功一			関西学院大学 社会学部 教授 <多様性との共生>研究センター所長	
13	1月23日	月	18:20-19:50	小林めぐみ	福島県立博物館専門学芸員									
課題レポート②(後期)・・・1月21日(土) 23時まで														

**選択科目Ⅰ**

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	回数	開講日	曜日	時間	タイトル	講義内容
プログラム実践演習 (*)	日比野克彦 布下翔基	高橋美苗 藤田まり	社会人受講生=22.5時間 芸大学生=2単位		オンライン	1	6月5日	日	13:30~15:00 (1.5h)	ガイダンス	社会の中でアートを介し、多様な人々との交流の場を作り出す実践について、実際の現場経験を通して学びを深めていきます。日比野克彦が展開するアートプロジェクトなどへの参加を通して学びを深めていきます。 今年度は一年を通して「変化し続けるパブリックアート」をテーマとしたプロジェクトに参加します。 東京藝術大学内で現在建築中の国際交流拠点(基本設計:藝大+隈研吾事務所)の壁面に「ともに暮らす」をテーマとし、アーティストによるパブリックアートを施す予定で、プログラム実践演習では「日比野克彦とDOOR」という枠組みで作品を制作、展示をします。 日比野克彦と布下翔基が関わっている外部のアートプロジェクトと連携し制作していきます。具体的には、参加者にとって大切な場所の土を素材に焼き物の手法で制作し、土を練り成形し焼成をし、パブリックアートとして展示します。  ※個人制作です。 ※オンラインのみでも受講可能です。 ※リアル参加の場合、制作は東京藝術大学の上野校地もしくは取手校地で行う予定です。
					オンライン	2	6月26日	日	13:30~17:00 (3.5h)	自己紹介、大切な場所の土の紹介	
					オンライン	3	7月18日	月・祝	13:30~15:30 (2h)	土のお話	
					オンライン	4	7月31日	日	13:30~15:00 (1.5h)	土づくりとは	
					オンライン	5	8月7日	日	13:30~15:00 (1.5h)	土を練る	
					藝大(上野or取手)/一部オンライン	6	9月11日	日	10:00~17:00 (6h)	制作①	
					藝大(上野or取手)/一部オンライン	7	10月8日	土	15:00~17:00 (2h)	焼成①	
					藝大(上野or取手)	8	10月9日	日	10:00~17:00 (6h)	制作②	
					藝大(上野or取手)	9	10月30日	日	15:00~17:00 (2h)	焼成②	
					オンライン	10	12月24日	土	13:00~15:00 (2h)	設置報告・まとめ	
課外活動あり											

**選択科目Ⅱ**



授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	開講日	曜日	時間	タイトル	授業内容
ケア実践場面分析演習 (*)	金野千恵	齊藤圭介 藤田まり	社会人受講生=22.5時間 芸大学生=2単位		上野校地	7月9日	土	13:30-17:00 (3.5h)	ガイダンス・チーム分け	福祉施設やケアの現場、当事者と対話や、実際の現場を訪れリサーチを行い、どうすれば現場のケアをよりひらかれたものとし、社会と結びつけることができるかをグループに分かれてワーキングをします。 グループワークでは約4名を1グループとし、実習先へのリサーチを行い、検証し、課題制作を行い、社会の中で実践を行います。それらの一連の展開をカタログやアーカイブ等公開を前提とした、レポートとしてまとめます。  <予定。改めて初回授業時にアナウンスします。> ・担当の施設への取材を行う。(日程はグループ毎に調整) ・標準取材日数 2日間(1日以上は必ず参加をしてください。) ・【取材】1回につき、2時間加算。最大2時間×2回=4時間まで加算。 ・【実践】2.5時間 *取材、実践はトークボードへの記録掲載が必須。 ・【成果物・レポート】の提出=2時間の加算
						8月28日	日	13:30-17:00 (3.5h)	中間チェック①	
						10月2日	日	13:30-17:00 (3.5h)	中間チェック②	
						11月27日	日	13:30-17:00 (3.5h)	作品講評会	
					各チームごと	12月~1月	各チームの実践や発表			
					S000 dramatic!	成果発表展 2月5日(日)~7日(火)				
					成果発表会場	2月4日	土	13:30-17:00 (3.5h)	最終報告会	
各施設に準ずる					最大8.5h	実習 成果物の提出(発表)				

選択科目Ⅰ・Ⅱの受講は任意になります。

(\*)は選択科目Ⅰ：各授業から1つ選びます。受講人数に定員があり、希望者が多い場合には抽選となります。

(☆)は選択科目Ⅱ：希望者は全員履修可能。

選択科目Ⅰ オンライン=  対面授業=  2023.1.7【7版】

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	回数	開講日	曜日	時間	タイトル	授業内容						
ドキュメンタリー映像演習 (*) 【定員20名】	森内康博	新妻葉子 北沢美樹 布下翔基	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	5月15日	日	10:30-12:30 (2h)	ガイダンス 講義(映像基礎知識)	映像に触れることが初めての受講生でも映像制作・ドキュメンタリー技法を基礎から学び、基本的な映像メディアを扱えることを目標としています。テーマにそって、グループで映像制作をし、授業最終には上映会をします。ドキュメンタリー映像の技法を学ぶだけでなく、制作プロセスを介し、映像のリテラシー=多様な人々との関わり方、振る舞い方をとらえることを目指します。 ゲスト講師として日比野克彦が講義を行います。						
						2	6月5日	日									
						3	6月19日	日									
						4	7月3日	日	9:30-14:30 11:00-16:00	フィールドワーク(浦安) *午前・午後実施。どちらか出席							
						5	7月17日	日	18:30-20:30 (2h)	フィールドワーク上映会							
						夏季						課題		映像制作の基礎知識についての講義のあと、社会人と藝大生が、制作チーム[1チーム4人前後]で、映像を制作します。テーマに沿って主体的にリサーチ・フィールドワーク・交渉・取材・撮影・録音・編集等を行います。			
						6	8月27日	日	18:00-20:00 (2h)	チーム分け		上野校地	7	9月25日	日	17:00-19:00 (2h)	企画発表
						8	11月13日	日	中間チェック/制作相談 /レクチャー								
						9	12月11日	日									
						10	12月25日	日									
上野校地						2月2日	木	18:30-21:00 (2h)		講評会	完成した作品を上映し、講評を行います。						
浦安市民プラザ						2月19日、20日	日・月	18:30-21:00 (2h)	トーク付き上映会	今年度フィールドとした浦安で成果上映会を行い、ゲストや観客体となった方々を招きトークイベントを行います。 ※展覧会：2月19日～25日							
制作内容に準じる						【課外活動】撮影・編集等の制作 【作品の提出】			【課外活動】日程は制作チーム毎に調整 【作品の提出】講評会までに提出								
美術鑑賞実践演習(*) 【定員10名】	伊藤達矢	草野温子	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	0	6月20日	月	13:00-13:40	授業説明会(任意参加・zoom)	スタッフによる説明と自己紹介						
						1	7月16日	土	13:30-16:30	ミュージアム体験とは?	複数の人との対話を通して作品を味わい、作品やモノを介して人がつながる場をデザインするプロセスを学びます。作品のキャプションを確認するのではなく、対話を生み、自由な発想で、主体的にのみ鑑賞の場づくりとは?講義と実践とおして考えます。 ※東京芸術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連携した集中講義。 ※AとBは、どちらかを選択。						
						2・3	A日程:8/6(土)+8/7(日)	土日	9:30-16:30	ファンリテーション基礎(1)							
						4	B日程:8/22(月)+8/29(月)	月	9:30-16:30	ファンリテーション基礎(2)							
						5	10月10日	月	13:00-17:00	ファンリテーション事前準備							
						6	10月31日	月	13:00-17:00	ファンリテーション実践							
						6	2月6日	月	13:30-16:30	1年間のふりかえり							
アクセシビリティ基礎 (*) 【定員10名】	伊藤達矢	齊藤圭介	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	0	6月11日	土	13:30-14:10	授業説明会(任意参加・zoom)		障害の有無に関わらず、人がアートを介して多様な価値にアクセスできる環境について学びます。障害をもつ当事者や社会的弱者の実態に取り組みを組織・専門職の支援に引き継ぎ、専門職の企画立案の基礎的な知識などを中心に進めます。授業では、各々の専門家で当事者をゲスト講師に迎え進みます。 ※東京芸術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連携した集中講義。 ※7月から毎月一回程度、日曜午後(祝日含む)に開講します。基本的にリアルで開催を予定していますが、ゲスト講師によってはオンラインの可能性もあります。					
						1	7月17日	日	13:30-17:00	<講座趣旨説明><障害> <子どもの貧困>	講師：小牟田悠介(東京藝術大学)/川島聡(岡山理科大学)/松見幸太郎(NPO法人キッズドア)						
						2	7月30日	土	13:30-15:30	<社会的処方>	講師：西野弘(川崎市立井田病院かわさき総合ケアセンター-看護内科/緩和ケア内科、一般社団法人プラスケア)						
						3	9月3日	土	14:00-17:00	<クリエイティブ・エイジング>	講師：齋藤 真(東京芸術館アートコミュニケーション係)						
						4	9月25日	日	13:30-16:00	<多文化共生>	講師：伊藤 達矢(東京藝術大学 社会連携 特任准教授)						
						5	10月30日	日	13:30-17:30	<ワークショップメイキング①>	調整中						
						6	11月20日	日	13:30-17:30	<ワークショップメイキング②>	オンライン 内容：「企画を立てる」						
						7	1月8日	日	13:30-16:00	<1年間のふりかえり>							

選択科目Ⅱ

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	回数	開講日	曜日	時間	授業内容
<夏期集中講義> 人間形成学総論 (☆)	渡邊祐子	北沢美樹	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	9月3日	土	10:00-17:00	この講義では、人間の性質や能力を育て形成する「教育」について考えます。具体的には、現代社会の教育と学びの問題から出発して、人間形成の基本原理解について学び、さいごには一生を通じた学びの基礎的理解を身につけます。 一日目 前半：ガイダンス 後半：学ぶことと生きること 二日目 前半：一生運にわたる学習 後半：自律的な学習者を目指して 三日目 前半：学「力」とは何か 後半：教育の実践事例から 四日目 前半：ワークショップ 後半：対話とは何か
						2	9月10日	土	10:00-15:00	
						3	9月17日	土	10:00-17:00	
						4	9月24日	土	10:00-17:00	
<夏期集中講義> アートプロジェクト実践論 (☆)	奥山理子	高橋美苗	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	7月30日	土	10:00-16:00	今、全国各地で様々なアートプロジェクトが展開されていますが、今後アートプロジェクトはどの様な方向性を持って進んでいくべきかという問いについて、実践的立場から検証と考察を行うことを目的としています。とくに、障害、貧困、国籍、高齢化などといった現代社会の抱える様々な課題や困難さと向き合うみずのき美術館(京都府亀岡市)、HAPS(京都府京都市)、その他国内外の取り組みを題材として取り上げ、アーティストや現場を支える実務家たちの関わりを多角的に考察し、作品をつくることの意味について、またアートを介して多様な価値や人々と関わることの意味について考えることを中心に授業を進めてゆきます。
						2	8月6日	土	10:00-16:00	
						3	8月21日	日	10:00-16:00	
						4	8月27日	土	10:00-16:00	

講師の都合により、開講日時が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

DOOR eアーカイブリング

授業名	取得時間	参加方法	場所	受講可能期間	授業内容
DOOR eアーカイブリング	社会人受講生 =45時間まで		web	2022年4月 ~ 2023年3月	前年度までのDOOR講義「ダイバーシティ実践論」「ケア原論」を中心に映像視聴ができます。視聴し、レポートを提出すると、時間数の加算が可能です。 時間数の取得上限は45時間までです。

DOOR特講

DOORでの学びを深めるテーマについて、不定期に実施する講義です。参加は任意。出席すると受講時間に加算されます。

この講義には、DOOR修了生も参加する場合があります。開催時は、随時お知らせします。

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	日時	曜日	時間	授業内容
あおもりJOMON GYOMO(縄文漁網) プロジェクト	渡邊五大	新妻葉子	2.5時間		上野校地 第3講義室	7月10日	日	10:00~12:30	本プロジェクトは青森県と東京藝術大学(美術教育研究室+染織研究室)が連携し、青森県の特徴である「縄文文化」をテーマに、美術の視点を用いた社会教育・学校教育と親和性の高い「文化芸術体験・学習プログラム」を展開し、将来を担う人材育成を推進していきます。ワークショップでは、植物の繊維から糸を作り、縄文にインスパイアされた漁網を編んでいます。
ARTs x SDGs プラクティス	伊藤達矢 田中一平	藤田まり 北沢美樹	社会人 受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	7月5日	火	18:20~19:50	稲場雅紀 (特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会 理事・国際保健部門ディレクター)
						8月9日	火	18:20~19:50	白木 彩智 (issue+design)
						9月6日	火	18:20~19:50	安居昭博 (Circular Initiatives & Partners 代表)
						10月11日	火	18:20~19:50	川村 祐子 (認定NPO法人 ACEソーシャルビジネス推進事業部 リサーチャー)
						11月8日	火	18:20~19:50	平田仁子 (一般社団法人 Climate Integrate 代表理事)
12月6日	火	18:20~19:50	大空幸星 (NPO法人あなたのいばしょ 理事長)						
人体デッサン	伊藤達矢 田中一平	草野温子	4.5時間		上野校地 大石膏室	①10/22(土) ②10/23(日)	土or日	13:00~17:30	本プロジェクトのテーマである「アート×福祉」の視点から、人体をまよ観察し理解することを目的に人物デッサンを行います。造形的な視点、ケアの視点などを横断し、より総合的に「人体(人)」への理解を深めることを目指します。(教材費：1500円) ※2日開講しますが、2日とも同様の内容です。お一人につき1日のみ参加可能です。授業前にアンケートにて日程調整をします。
ワークショップ メイキング	舘野泰一 (立教大学 経営学部 准教授)	高橋美苗	3.5時間		オンライン (Zoom)	11月13日	日	13:00~16:30	人と人がつながるための、ワークショップの作り方やその理論を学ぶ授業です。特にコロナ禍の中で発達しているオンラインでのコミュニケーションの可能性について、オンライン・ワークショップ形式で考えます。
ワークショップ ブレインストーミング	伊藤達矢	齊藤圭介	3.5時間		東京藝術大学 上野校地 第3講義室	11月19日	土	13:00~17:00	個々人の興味や傾向、経験を重ね合わせて、DOOR受講生ならではのアート×福祉の活動アイデアをブレインストーミングしよう。DOOR受講生同士の対話の中から新しいアイデアを発見することを目的としたワークショップ形式の講座です。定員60名。